

令和7年度 那覇地区中学校新人柔道競技大会要項

- 1 主 催 那覇地区中学校体育連盟
- 2 共 催 沖縄県教育委員会 沖縄県中学校体育連盟
那覇市教育委員会 浦添市教育委員会 久米島町教育委員会
南大東村教育委員会 北大東村教育委員会
- 3 後 援 那覇地区中学校校長会 那覇地区PTA連合会
- 4 期 日 令和7年1月10日(土)
- 5 日 程 **【男女団体戦・男女個人戦】**
開場・準備 8:30
計 量 9:00～9:30 ※団体・個人の計量を行う。
監督会議 9:30～9:40
審判会議 9:40～9:50
開始式 9:50
男女団体 10:05～
男女個人 試合の進行、参加数を見て調整
※ 島尻地区と合同開催とする
- 6 会 場 『沖縄県立武道館(3F) 第三錬成道場』
- 7 申込締切日 令和7年12月19日(金) メールで申込み
※試合当日に申込用紙の原本を持参してください。
※申込み締め切りに間に合わない場合は、参加できません。
- 8 申込み方法 ☐ 「大会申込用紙」を、「那覇地区中体連 HP」よりダウンロード
☐ 「大会申込用紙」に必要事項を記入し、メールにて申込み
☐ 申込みデータを下記宛てに12月19日までにメール送信
☐ 必ず返信メールを確認して下さい。
※問い合わせについては、下記メールアドレスよりメールにて連絡ください。
【送信先アドレス：yoshitakas@open.ed.jp】
那覇地区柔道専門部 吉田 孝
- 9 組み合わせ 日 時：令和7年12月24日(水) 港川中学校 17:00～
抽選 討議内容：準備、係分担、注意事項、抽選、その他
(抽選会) ※師走多忙のため、地区専門部で本部抽選とします。
- 10 運営責任者 地区中体連柔道専門部
◎吉田 孝(港 川) ○兼島 高雄(沖 尚)
- 11 参 加 資 格 (1) 那覇地区中学校体育連盟に加盟している学校及の生徒であること。
(2) 学校長及び地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の責任者が選手として、本大会に出場を許可したチーム・個人とする。
(3) 選手の引率・出場校の校長・教員と及び地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の責任者とする。監督は出場校の校長・教職員(常勤)部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては学校長の認めた者で、地区、県に登録された者とする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする
(4) 那覇地区中体連が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。校長は、この点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力などに対する指導措置を受けていないこととする。
(5) 地域スポーツ団体の参加は、沖縄県中学校体育連盟の各競技が定める大会参加詳細を満たしていることとする。

※地域スポーツ団体等(地域スポーツクラブ活動)については、次の2点の条件を満たす団体に所属するチーム及び個人の参加を認める。

①本地区(那覇地区)を拠点に活動している団体

②沖縄県中学校体育連盟より中体連主催の大会参加を認定された団体

- 12 参加制限 (1) 男子は1校2チームまで編成できる。選手は5名(補員2名)、監督1名の計8名とする。監督は両方兼ねることができる。
- (2) 女子は1校2チームまで編成できる。選手は3名(補員1名)、監督1名の計5名とする。監督は両方兼ねることができる。
- (3) 個人戦の体重区分は下記のとおりとする。各階級とも参加制限なし。

男子	-50kg	-55kg	-60kg	-66kg	-73kg	-81kg	-90kg	+90kg
女子	-40kg	-44kg	-48kg	-52kg	-57kg	-63kg	-70kg	+70kg

- 13 競技形式 団体戦・個人戦とも参加校・参加人数によって専門部で決定する。

- 14 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定(2025年4月1日施行の新ルール)及び国内における「少年大会特別規定」及び本大会の申し合わせ事項による。
- (2) 試合時間は団体戦・個人戦ともに3分(ゴールデンスコアは時間無制限)とする。
- (3) 勝敗の判定基準は、団体戦・個人戦ともに「一本」「技有」「有効」または「僅差(指導の差2)」とする。」個人戦においては、「指導」の差1以内の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を行って勝敗を決する。
- (4) 「技有」2つで「一本」とする。
- 抑え込み時間は5秒で「有効」、10秒で「技あり」、20秒で「一本」とする。
- (5) 優劣の成り立ちは以下の通りとする。
- ① 団体戦 「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」(「指導」差2)
 - ② 個人戦 「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「有効」>「僅差」(「指導」差2)
 - ③ 延長戦(ゴールデンスコア) (団体戦の代表戦及び個人戦)
 - 規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」差1以内の場合、その試合はゴールデンスコアによる延長戦を行う。
 - ゴールデンスコアにおいては、技による得点がない場合、「指導」の差が上回った時点でその選手が負けとなる。
- (6) 団体・個人ともには3位決定戦を行なわない。

- 15 競技方法 (1) チームの編成は体重の軽い順（先鋒～大将）に編成する。補員起用の場合も体重順に編成する。（但し、3名しかいない場合は先鋒・次鋒を空ける。）
女子で2名の場合は先鋒をあける。
(2) トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。
ア チーム間における勝数の合計によって決定する。
イ アにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
(3) リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
ア チーム間の勝ち、引き分け、負けの率による。
率については、3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。
イ アにおいて同等の場合は、直接対決の勝敗による。
ウ イにおいて同等の場合は、勝数の合計による。
エ ウにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
オ エにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
カ オにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
キ カにおいて同等の場合は、1名による代表選を1回行い判定する。
ク 団体戦において2校以上が同等の場合は、代表者によるリーグ方式で決定する。
ケ 個人戦においても同上の方法で決定する。
- 16 表彰 団体は1位～3位までを表彰し、優勝校に賞状・優勝杯、2位・3位の学校に賞状を授与する。個人は各階級1位～3位までを表彰し、賞状を授与する。
- 17 その他 (1) 柔道衣にゼッケン（学校名、姓名入り、男子は黒・女子は赤）を着用し試合をすること。
※【縦25cm～30cm、横30cm～35cm、姓名上側2/3、学校名1/3横書きとし柔道着の後ろ襟から5cm～10cm下に縫い付ける】
※学校名の表示は、金城中 → 金城（〇〇中を入れない）
(2) 大会に参加するにあたっては、十分な体力と柔道の技量（受け身ができる）を有し、学校長が許可したチーム・個人とする。少年3級以上を有する者が望ましい。
(3) 女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。なお、Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。
(4) 各顧問の先生は、全員必ず係りとして運営に参加する。
(5) 大会参加にあたっての留意事項
①皮膚真菌症（トラブランス感染症）について発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可能とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
③大会参加にあたり、氏名、学校名、学年及び対戦結果、記録、画像等を主催者が発行・販売する大会冊子、出版物、及びホームページなどに使用することがあります。あわせて、マスコミへの公表に使用することがあります。